

わくわくハッピータイム(縦割り班遊び)(11月12日)

今週のわくわくハッピータイムは、縦割り班遊びでした。各班の6年生が、内容を計画してくれました。今回も雨天時の場合も考えてくれていましたが、晴れました。



体育館では、1・2・4班が、合同で「けいどろ」をしていました。人数が増えて、ダイナミックになります。ルールをみんなで確認した後、鬼(警察)を決めました。



一旦、始まってしまえば、低学年も高学年も関係ありません。ただ追いかけるのみ！いざ、逃げるのみ！



こちらは「牢屋」です。仲間が助けに来てくれるのをひたすら待ちます。但し、簡単には逃げられないため門番役の子がいます。助けて!!



図書室では、3班が「タッチキラー」という遊びをしていました。鬼が誰か分からないように決めて、知らん顔でタッチしていきます。



周囲をよく観察する目で見ながら、もしかしたら・・・と考える心理戦です。見ていたら、タッチするところを別の子に見られて、バレてしまった場面もありました。楽しそうです。



屋外では、6班と7班が「飼育員けい
どろ」という遊びをしていました。
ただの「けいどろ」ではなく、鬼(飼
育員)を決めます。逃げる人は「牛」
「犬」「猫」などのチームに分かれま
す。



捕まっても助けることができるのは、
同じチームの人同士のみ。というこ
とは、そのチームの人が牢屋に1人残
ってしまった場合、誰も助けが来な
い……。子ども達は、よく考えるもの
ですね。



5班は、「新聞紙ジャンケン」をし
ました。ペアを組み、3チームずつに分
かれます。お互いにジャンケンして、
負けたら乗っている新聞紙を半分にし
ます。もちろん新聞紙から2人とも出
てはいけません。



アウトにならないように、おんぶするなど新聞紙から出ないように工夫していました。とても楽しそうでした。

